

新たな町で、新たな取り組み。新たな地盤で地域で起こす！

～さあ！まんぞくする、にないて育成を！～

(課題番号 6)

- ◆活動年次：令和3～令和7年度
- ◆対象：様似町田代地区（44戸）

1 課題の背景

- ・地区の農業経営は、夏秋どりいちご、水稻、軽種馬、畜産が主体である。
- ・夏秋どりいちごは、就農年数が少ない新規参入者が多く、労働負担の軽減も必要である。
- ・畜産部門は、家族経営のため労働力不足が危惧される。
- ・多くの経営部門で後継者が少なく、地域の維持が困難となることが推察される。

2 活動の経過



日高東部地区普及推進会議

新重点地区の設定

- ①令和2年目までの重点地区（浦河町富里地区）の農業者は、15年間の活動に満足感を示す。

「様似町田代地区」に重点地区を変更

- ②田代地区農業者へのアンケート調査（回答戸数率84%）に基づき、地域の課題を整理。結果を関係機関と協議し、推進事項（以下の3事項）を決定。
- ③新たに「日高東部地区普及推進会議」を設置し、各関係機関と、内容を共有化しながら活動する事を確認。

夏秋どりいちご経営の安定化

- ①基本的な栽培技術の実践状況を確認した。特に農薬選択の助言。
- ②肥培管理で重要な、排水管理の省力化について検討。
- ③臨時雇用の実態把握と将来の共有化に向け、聞き取り調査を実施。



現行の排水管理方法

畜産経営の安定化

- ①植生調査に基づく指導を行い、省力化を目的とした緩効性肥料試験を実施。
- ②牛群情報や市場データに基づき、今後の繁殖牛に関する更新・増頭を協議。
- ③労働力減少を想定した経営シミュレーションに基づき、今後の経営方針を検討。



草地指導の様子

担い手の確保

- ①将来における農地の遊休化に関して、農業者や関係機関と協議。
- ②農地や担い手に関する町内組織の事務局等に、担い手の確保に関する情報を提供。



町・振興局・普及センターによる協議

3 活動の成果

夏秋どいいちご経営の安定化

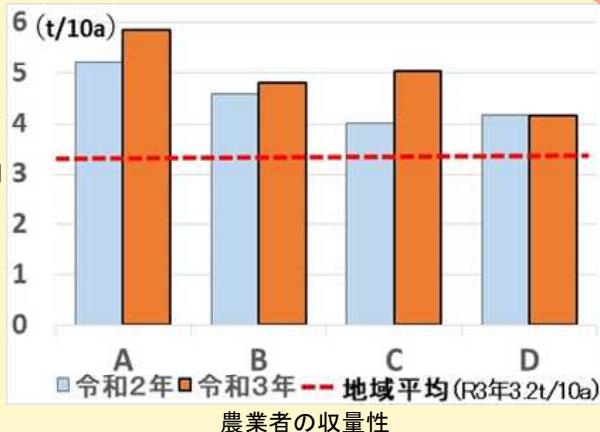
- ①基本栽培技術の重要性について、理解を深めることができ、収量性は前年や地域平均の値を上回った。
- ②水道メーターの流量計を有効活用し、低コストで簡易な流量計を試作した。
- ③雇用者共有に関して、課題を明確にした。



水道メーターを活用した流量計



排水は容器に貯めて確認しているが、省力化したい。流量計なら、排出作業が不要になる。(農業者C)



畜産経営の安定化

- ①普及センターの助言に基づいた、草地の更新(5筆)や管理が実施された。
- ②自家産雌牛の保留に向けた交配を検討することができた。
- ③飼養頭数や経費等についてシミュレーションすることで、今後の経営方針の参考となった。



・2番草時期は忙しく、追肥できない。緩効性肥料は有効!(農業者E)
 ・経営の参考にしたいため、様々な情報を提供してほしい。(農業者F)

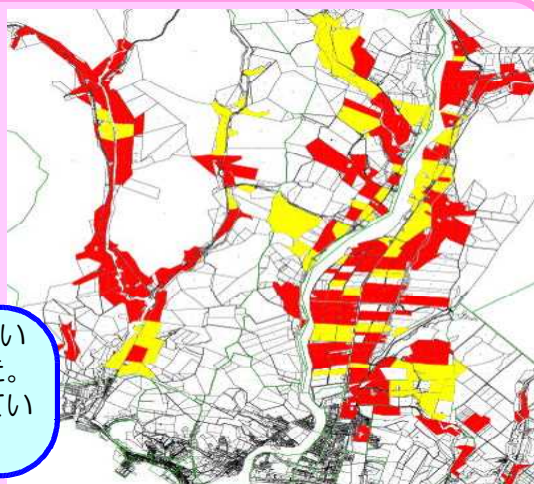


担い手の確保

- ①将来における農地の遊休化に関して、異業種の複合を視野に入れた経営の必要性が、理解された。
- ②今後、関係機関と連携した企画案を作成し、様似町農業担い手育成協議会や様似町人・農地プラン検討会に、提案することで合意した。



農業者が減少し、農地が遊休化していく状況に、検討方法すら解らなかった。共に時間をかけて、解決方法を考えていきたい(役場職員)



現在60才以上で後継者がいない農地(赤色で標記)

4 今後の対応

夏秋どいいちご経営の安定化

RACコードによる農薬整理、省力化技術導入の検証、雇用者共有に関するグループワーク支援。

畜産経営の安定化

早春適正施肥や草地更新ほ場の検討、各情報に基づいた交配・飼養・草地管理支援。

担い手の確保

新規参入者・人材確保に向け、農地や担い手に関する町組織との活動を推進。